

(様式1)

平成30年度 学校評価報告書 (学校評価結果のとりまとめ)

神戸市立西神中学校
校長：篠田 潔

項	重点目標(取組)	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価でいただいた意見等
一人一人を伸ばすに向けた力	・自主・自律の育成に努める。	・人権や道徳の学習を通じて、人を思いやる心や奉仕の精神を育む教育活動を展開した。 ・積極的に行事に取り組み、充実感を味わうことができる学校生活の実現に努めた。	A	・今後も継続して生活アンケートを実施し、その都度見直していきたい。 ・人権や道徳の学習の時間を確保し、充実を図る。 ・スクールカウンセラーとの情報共有をさらに図る。	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が楽しく感じる授業、分かる実感できる授業の取り組みを今後もお願いしたい。一部の生徒が見放されたり、分からない授業にならないでほしい。 全体的に見ると、概ね良好であっても、個々の生徒への対応は必要である。集団生活の中で、一人一人異なった個性の生徒に対応するのは難しいと思うが、生徒にとって思春期の大切な時期である。 朝の時間の読書など、いろいろな活動を通して、読んだり書いたりする力は備わってきているが、自分の考えを伝えられない。意見交換や班活動の教育活動を増やしたり、安心して発言できる教室の雰囲気づくりに努めていただきたい。 福祉学習や職業調べ学習など、生徒が主体的に取り組む学習の機会は今後も続けてほしい。
	・基礎学力の定着を図る。	・生徒主体の言語活動を取り入れた授業を工夫した。 ・ICTを活用した授業の工夫に努めた。 ・朝読の時間を利用して、「まとめの達人」に取り組み、文章を読み取る力を養う。	A	・今後も継続して授業アンケートを実施し、より有効な指導のあり方を研究し、新しい授業形態を取り入れ、分かる授業の実践につなげていきたい。 ・ICTを活用した授業を展開する。 ・来年度も「まとめの達人」を継続し、自分の言葉で表現できる力を向上させたい。	
	・総合的な学習の時間の充実に努める。	・3年間を見通して、進路・生き方・防災学習を中心に学習活動を展開した。	A	・3年間を見通した計画的な総合学習を一層推進する。引き続き防災学習に重点を置き、地域と連携した体験的な学習活動を推進する。	
実教職員磨き・学高校の魅力と	・校内研修の充実。研究授業を実施し、教員の資質の向上を図る。	・個人目標を設定し、それに沿った授業展開の工夫に取り組んだ。 ・授業研究旬間を設け、それぞれの授業を公開し、意見交換を行った。 ・配慮を要する生徒への対応をテーマに定期的に研修を行った。	A	・全教員が授業公開する機会をもつようにする。 ・特別支援教育の見地を取り入れた授業や学級指導を展開し、より一層「わかる授業」に取り組む。 ・来年度へ向けての引き継ぎを確実にし、学年当初からのスムーズな学習支援を心がけたい。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業アンケートの結果を見ると、「あまり思わない」「思わない」の低い評価が出ている項目がある。どの教科においても、「自分の考えや質問を進んで発表した。」という項目で、評価が低い。生徒が発言・発表しやすい授業・雰囲気をお願いしたい。 西神中だよりや学校ホームページ、西神ネットなど、生徒や学校の様子について情報を発信するシステムはよかった。 携帯・スマホ安全教室で、危険性について指導していただきありがたかった。ただ、家庭学習の妨げになっているのが、スマホという事例がよくある。将来困らないように、よく考えて、誘惑に立ち向かってほしい。 引き続き、学校だよりやホームページを活用して、学校の様子をできる限りわかりやすく伝えてほしい。
	・OJTの推進。学校が一体となって教師力の向上に努める。	・校務の遂行、職員研修を通して中堅教員・若手教員を育てる工夫をした。 ・教職員としての自覚と誇りを持ち、教育活動に取り組んだ。	A	・今後も継続して校務の遂行、職員研修を通して中堅教員・若手教員を育てる。 ・KIIIFの掲示板等を利用して情報交換を行い、生徒が安心して過ごせる学校体制を組みたい。	
	・情報発信の充実。	・西神中だより、学校ホームページを活用し、学校の様子を家庭や地域に積極的に発信した。 ・西神ネットにより、宿泊行事の様子や学校からの連絡を家庭へ積極的に発信した。 ・学校行事に合わせ、春と秋に学校公開デイズを実施した。	A	・個性を大切にしたい充実した情報発信ができるよう努力する。 ・学校ホームページを利用し、さらに情報発信を充実させたい。 ・学校公開デイズに多くの保護者や地域の方々が参加できるように日程調整をして計画したい。	
特色ある神戸の教育を更に	・環境教育の充実を図り、安全安心な学校づくりを進める。	・ごみの分別など環境保全活動に取り組んだ。 ・節電・節水など前年度比5%マイナスを目標に、使用量削減に取り組み、大きな成果をあげた。 ・危険個所の点検・改修工事を行った。	A	・プリントなど不要な印刷を避け、紙資源を有効にした。また、来年度も不要時の消灯・エアコンの停止等にも取り組んでいきたい。 ・年数を経た施設・設備の点検を定期的に行い、必要な改修をすすめていく。	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携して、避難訓練や市民救命士講習などの体験学習、災害時の措置を勉強することができた。 本校には制服リサイクル委員会があり、体操服や制服の回収・販売が好評である。今後も続けてほしい。 各教科の授業や活動の中で、今後のエネルギー政策や資源の有限性を生徒に認識させ、資源の節約を実行させていくことが大切である。 防災学習や避難訓練など積極的な取り組みが見られる。震災のことを引き継ぐこともぜひ続けてほしい。 台風で体育館の屋根が剥がれ、驚いたが、すぐに改修できてよかった。
	・防災学習の推進。防災教育、命を大切にする教育の推進を図る。	・計画的に防災、震災学習に取り組み、避難訓練を実施した。 ・「減災クロスロード」や「市民救命士講習」に取り組んだ。	A	・今後も継続して防災、震災学習に計画的に取り組む、定期的に避難訓練を実施したい。 ・地域と連携した防災学習の推進をさらに図り、地域の避難訓練にも生徒・教職員が力を合わせて取り組むたい。	

市民が自ら学び子供の育ちを共に支える	<ul style="list-style-type: none"> 家庭、地域との連携。美竹っ子応援団の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加し、運営や模擬店の手伝い、部活動の出演など地域との交流を深めた。 授業補助や行事の受付・警備など地域の方に支援していただいた。 小学校、地域と共に小中地域合同クリーン作戦を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、生徒会や部活動を中心に「美賀多台夏祭り」や「竹の台ふれあいまつり」などの運営協力や模擬店の出店など、地域との交流を深めたい。 地域との連携を図り、美竹っ子応援団の取り組みを積極的に活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校中の生徒は、「おはよう・おかえりなさい」と声をかけると返事がある。中学生は、大人の方から声をかけると、あいさつもできる。恥ずかしさもあるのだろう。 生徒が立派に学校生活を送っているのは、家族のしつけがきちんとなされているから。体育会や文化発表会に参加して、保護者に接する機会にそう思えた。保護者も竹の台ふれあいまつりなどに参加して、地域の人たちとつながりを深めてもらえるとよいと思う。 学校評議員に委嘱されているので、毎朝の見守り活動、夕方の安全パトロール、学校行事に参加することで生徒とふれあい、学校と地域が結びつきを大切にしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や個別保護者会などを通して、家族の願い、思いの把握に努めた。 学級世話係会を通して、学校の現状や課題について共有する場を持った。 保護者との協力体制を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や個別保護者会等を通して、一層の信頼関係構築に努める。また、行事や保護者会等は保護者が参加しやすい日時を設定し、早めに知らせていきたい。 今後も継続して、年3回学級世話係会を実施し、学校の課題について共有する場を持ちたい。 	

*セルの数や大きさは、変えていただいてもかまいません。